

長内市長(豊中市)のメッセージ

近年、地球規模で気候変動による災害が数多く発生し、私たちは、まさに気候変動危機に直面しています。2050年の未来を見すえたとき、地球全体の環境問題には、まず地域から取り組む必要があります。

これまで本市では、よりよい環境を未来に伝えるため「環境のまち・豊中～未来を見すえ 地域のみんなで創ろう～」を掲げ、市民、事業者などの多様な主体と協働して取組みを進めてまいりました。

今回、本市と吹田市が共同して本宣言を行うことにより、これまで進めてきた市域での取組みに加え、市域の枠を超えた広域的な効果が期待できます。両市の更なる連携強化により、温暖化に対する取組みを一丸となって進め、脱炭素社会の実現に向け、自然と共存する持続可能なまちづくりを進めてまいります。



豊中市 長内 繁樹

後藤市長(吹田市)のメッセージ

吹田市では、日本人が大切にしてきた「もったいない精神」を基本理念として、省エネルギー機器の積極的な導入、環境を汚さない自然由来の「再生可能エネルギー」の利用促進など、環境に配慮した積極的な取組を進めてまいりました。

しかしながら、近年の気候変動による異常気象は、文明社会への警告ともとらえられ、その対策は喫緊の課題となっています。この課題を解決するためには、より多くの人々が危機的状況を深く受け止め、ライフスタイルの転換が必要不可欠であることから、単一の自治体ではなく、広域的に取り組むことが大変重要です。

本市と豊中市はその考えに則り、ここに「気候非常事態宣言」を共同で宣言し、より多くの人々とともに、「環境と共生できる成熟した社会」の実現にチャレンジしてまいります。



吹田市 後藤 圭二